



令和5年度 静岡年末年始無災害運動実施要領

1 趣旨

令和5年度静岡年末年始無災害運動は、年末年始を無事故で過ごし、誰もが明るい新年をスタートできるように、慌ただしい時期だからこそ基本的観点に立ち返り、労働災害防止対策を推進していくことを目的としている。

静岡県内では労働災害により令和5年10月末現在で19人の尊い命が失われている。このうち墜落、転落により死亡した労働者が5人、次いではされ、巻き込まれにより死亡した労働者が3人と昨年同様、この2つの事故の型を起因とした事故で多くの労働者の方々の命が失われている。

休業4日以上の死傷者数は10月末現在で4,080人と前年同期に比べ250人(7%)減少している。新型コロナウイルス感染症によるものを除くと、52人(2%)減少している。転倒災害については、10月末現在の死傷者数は840人と前年同時期に比べ12人(3%)減少しているものの、全死傷者数の25%と多くを占めている。また、前年度の同運動期間中の転倒災害による死傷者数は137人と昨年同様全死傷者数の28%を占め、年末年始に転倒災害が増加する傾向にある。

このような状況の中、「転倒」、「墜落・転落」、「はされ・巻き込まれ」の災害防止を重点実施事項とし、以下の基本的観点に立ち「令和5年度静岡年末年始無災害運動」を県下一斉に展開することとする。

2 基本的観点

- いかなる時代にあろうとも、「労働災害は本来あってはならないもの」であり、労働災害防止は企業の社会的責任であること。
- 「安全最優先」の思想は先人の尊い犠牲によるものであり、「安全のルール」はその貴重な教訓であること。
- 一人の不安全行動は、他の人の不安全行動を招き、多数の災害を誘発するおそれがあること。
- 無事故の帰宅は、本人を取り巻くすべての人の当然かつ切なる願いであること。

3 スローガン

『働き方 変われど変わらぬ安全第一 みんな笑顔の年末年始』

4 実施期間

令和5年12月1日から令和6年1月15日

5 主唱者

静岡労働局、管下各労働基準監督署、(公社)静岡県労働基準協会連合会、県下各労働基準協会、建設業労働災害防止協会静岡県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会静岡県支部、林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部、港湾貨物運送事業労働災害防止協会東海総支部清水支部、(一社)日本ボイラ協会静岡支部、(一社)日本クレーン協会静岡支部、(公社)建設荷役車両安全技術協会静岡県支部、(独)労働者健康安全機構静岡産業保健総合支援センター、(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会静岡支部

令和5年度

静岡年末年始無災害運動

運動期間/令和5年12月1日～令和6年1月15日

働き方 変われど変わらぬ安全第一 みんな笑顔の年末年始

『令和5年度スローガン 建設業労働災害防止協会 静岡県支部 (株式会社グロージオ) 鍋島五和次さん』

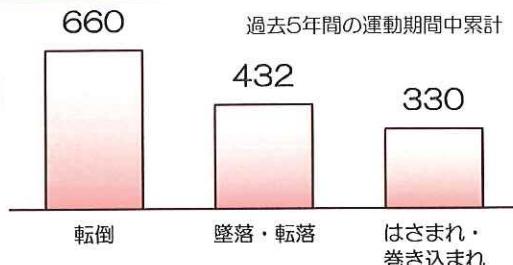
△重点実施項目▽

☆転倒災害の防止 「静岡労働局 ぬかづけ運動」

☆墜落・転落災害の防止

☆はざまれ・巻き込まれ災害の防止

☆非定常時作業における災害の防止



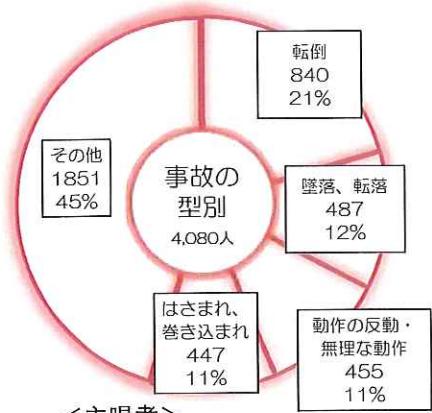
▽共通対策△

- (1) 経営トップの参加の下に、職場巡視による総点検の実施
- (2) 4S(整理、整頓、清掃、清潔)活動の徹底
- (3) 非定常作業における作業方法の確認と災害防止措置の徹底
- (4) 交通労働災害防止ガイドラインに基づく対策の推進



SAFE

Safer Action for Employees



令和5年1月～10月の状況

死傷者数 4,080人

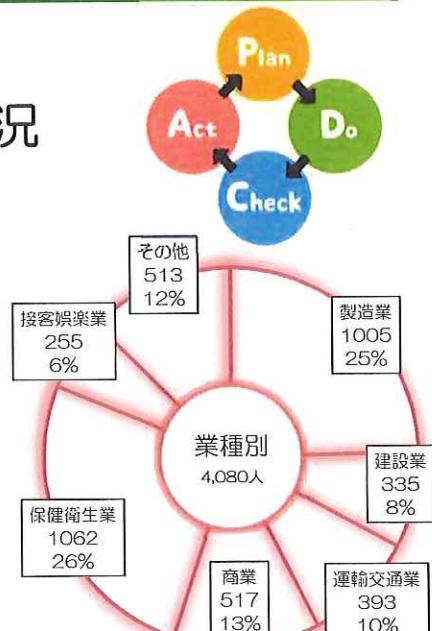
うち新型コロナウイルス感染症によるもの 773人

(前年同期 4,330人)

(うち新型コロナウイルス感染症によるもの 971人)

死亡者数 19人

うち新型コロナウイルス感染症によるもの 1人
(前年同期 28人)
(うち新型コロナウイルス感染症によるもの 0人)



＜主唱者＞

静岡労働局、労働基準監督署、(公社)静岡県労働基準協会連合会、県内各労働基準協会、建設業労働災害防止協会 静岡県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会 静岡県支部、林業・木材製造業労働災害防止協会 静岡県支部、港湾貨物運送事業労働災害防止協会 東海総支部清水支部、(一社)日本ボイラ協会 静岡支部、(一社)日本クレーン協会 静岡支部、(公社)建設荷役車両安全技術協会 静岡県支部、(独)労働者健康安全機構 静岡産業保健総合支援センター、(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 静岡支部

年末年始は無災害に向けて以下の取組を行いましょう！

STOP！転倒災害

詳しくは、静岡労働局ホームページをご覧ください

「静岡労働局 ぬかづけ運動」⇒

ぬかづけ運動

検索

- **ぬ**れた場所：床面の水、汚れ（油、粉など）等を取り除き、床の凹凸や段差などはなくしましょう。
- **か**いだん：滑り止めの設置を行い、通行する場合は手すりを利用しましょう。
- **かたづけ**：物の置き場所を定め、歩行場所には物を放置しないようにしましょう。
- **運動**：ストレッチや転倒予防体操など運動を行って、転倒しにくい体づくりに努めましょう！
- 作業に適応した、滑りにくく、安定した履物を着用しましょう。
- 転倒危険場所には、注意喚起のステッカーなどを貼りましょう。「見える化」
- 高年齢労働者に配慮した作業環境を整えましょう。
- 転倒予防体操など、身体機能の維持、向上を図りましょう。



STOP！墜落・転落災害

- はしご、踏み台、脚立は、正しい方法で使用しましょう。
- 高所の床の端には、周囲に手すりや柵を設けましょう。
- トラック等での荷役作業時には、保護帽（墜落時保護用）を着用しあご紐も確実に締めましょう。
- 高所での作業は、保護帽及び墜落制止用器具を使用しましょう。



STOP！はさまれ・巻き込まれ災害

- 機械危険な部分には、安全ガード（覆い、蓋、囲いなど）や安全装置などを設けましょう。
- 機械の清掃時、異物を取り除く時、調整時などでは、必ず機械を停止させてから行いましょう。
- 非定常時の作業などでは、作業開始前に作業の手順をしっかりと確認し、機械の運転再開時は合図を定めるなど、作業者間の調整を事前に行いましょう。
- フォークリフトによる作業などでは、接触する危険のおそれがある場所への労働者の立入を禁止しましょう。



年末には機械等設備の停止や事業場内の掃除、年始には機械等設備の起動、また年末年始の期間中に行う定期修理作業等、年末年始の期間には通常作業とは異なる「**非定常時作業**」を行う機会が多くなります。

まずは、基本に立ち返り、「作業方法が安全なものとなっているか？」「定められた作業方法通りの作業が行えているか？」確認を行いましょう。

職場の安全対策を！



「静岡労働局ぬかづけ運動」実施中！

転倒災害を防止しよう！



ぬ
れた場所

床の水たまりや氷、油、粉類など危険な状態をみつけ、対策を講じていますか？



か
いだん

階段や段差のある場所など、転倒リスクの高い箇所に対して対策を講じていますか？



かた
づけ

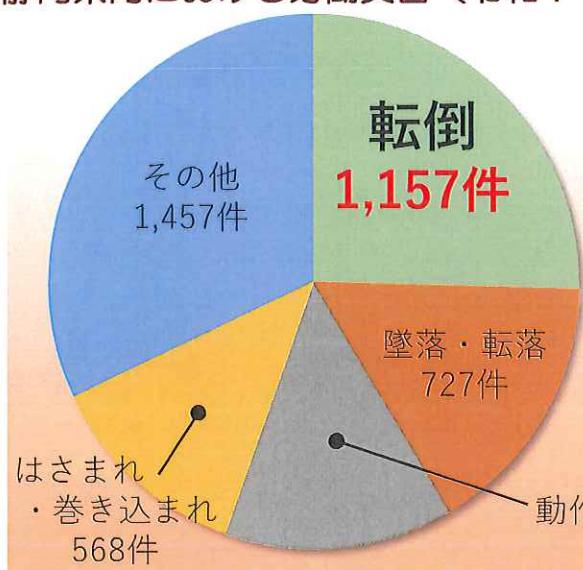
身の回りの整理整頓など、日々、作業者への意識づけ、教育などを行っていますか？



毎日の
運動

ストレッチや転倒予防体操など運動を行って、転倒しにくい体づくりに努めましょう！

静岡県内における労働災害（令和4年 4,547件）



転倒
全体の
25%



静岡県内では、平成21(2009)年から連續し、転倒災害が「事故の型」ワーストワンとなっています。転倒災害を少しでも減らすため「静岡労働局ぬかづけ運動」を展開しています。

Hard



ぬれた場所など危険な状態

かいだんや段差のある場所など、
転倒リスクの高い箇所



- 手すりを設ける、段差をなくすなど設備改善
- 掃除を行い、すべりにくい状態に戻すなど安全な状態の維持

リスクの洗い出しを行い物理的な対策へ

Soft



定期的なかたづけや、通路は走らない
など、作業者への意識づけ



作業前のストレッチや
転倒予防体操などの運動

- 清掃の実施、通路は走らないなどのルール作り
- 作業前にストレッチを行う

定期的な教育や毎日の運動の実施

テン トウ
10月10日は『転倒予防』の日

参考

○中央労働災害防止協会「STOP！転倒災害プロジェクト」
<https://www.jisha.or.jp/campaign/tentou/index.html>

○一般社団法人 日本転倒予防学会 <http://www.tentouyobou.jp/>

STOP！転倒 検索

※転倒リスクの高い箇所をわかりやすく「ぬかづけ」と提唱したのは「日本転倒予防学会」の前理事長 武藤芳照氏です。